

地域おこし 協力隊が行く! — Vol. 88

中標津町地域おこし協力隊 白石 つよし 強志



中標津は私の父の実家と以前お話しさせていただきましたが、5月の新聞の記事に女優の倍賞千恵子さんが北海道で沢山の映画に出演した中で山田洋次監督の「家族」という映画が1番感情移入したという記事を読みました。

「家族」という映画は長崎から酪農を夢見て、貧しい一家が中標津に向かって長旅をするというロードムービーです。船や電車を乗り継いでいくなかで子供を亡くしたり、やっとの思いで中標津に着くも入植歓迎会の夜に父親が亡くなったり不幸に見舞われながらも力強く生きていく感動作です。交通センター横に記念碑があります。

私の持っている写真に、祖母の若いころの後ろ姿と茅葺の家、数頭の牛、小学生が写っている昔の写真があります。今まではあまり気にかけていませんでしたが、叔父に写真を見せたところ入植時に暮らしていた風景と分かり、小学生だった父も確認できました。

現在は大規模経営が進み搾乳、餌、健康管理、糞尿処理までロボット化にしている酪農家さんが増えています。が、映画「家族」や昔の写真のように希望を持って入植された先代の苦労があって今があると感じました。

私も牛舎のお手伝いをすることがあります。中標津の酪農が将来も豊かであるようにみなさんも応援しましょう。

